|  |  |
| --- | --- |
| **30**（月） | の-しよう |
|  | **使11章19節**　さて、ステパノのことからこったによりらされたは、フェニキア、キプロス、アンティオキアまでんでったが、ユダヤのには、だれにもみことばをらなかった。 |
|  | のということは、のことです。それは、237かと５をかして、のに１のやぐらをてるほど、のやぐらがつということです。これをいてRemnantがすことなく、よくるべきことがあります。１つ、パウロとそのチームがけたのです。パウロは、イスラエルととたちのにてるためののびのとしてされました。このパウロとそのチームは、であるのとにわたってされていたがかをかりました。２つ、パウロとそのチームは、けたのをいました。どこへってものきをけるためにりました。がふさがったときは、がかれるとおりにきました。くごとにマルコののでしたのをそのままわしました。３つ、パウロがしたのです。171、でなぜキリストでなければならないのかをしました。184では、とりがかをして、198には、まことのえであるのについてしました。Remnantは、このをってけてればよいのです。すると、24、25、のえがえられます。りでしましょう。 |
|  | 、のにすることができるようになをえてください。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.1.1.元旦祈り会3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **31**（火） | Remnantらのやぐら() |
|  | **イザ6章1～13節**　そこには、なおのがるが、それさえもきわれる。しかし、りされたテレビンやののように、それらのにりがる。このりこそ、なる。」(13) |
|  | Remnantがのをかす\*やぐらです。それゆえは、イザヤにRemnantをてなさいとわれました。Remnantは、がのをかすやぐらだというをえてることがあります。１つ、がられたをしましょう。イエスがでをれたをすべてわらせてくださいました。そして、イエスをしてをしたには、ののもえてくださいました。サタンがしても、のにキリストがおられるのでできます。すると、くごとにのをわうようになります。がえてくださったを\*させましょう。２つ、がにくださったのことをしましょう。のことをしたことをして、をおろしたといます。すると、のきがこります。３つ、がくださったのにくとき、ってくことがあります。まずに「なぜこのにキリストがなのか」についてのえです。そして、とりのとのについてです。これをもってしましょう。そうすれば、がになります。Remnantはのをかすやぐらだというをれずに、がくださったが、、になるようにしましょう。\*-がる、すなわち、にえないようにをめるのをします\*やぐら-りをするためにてたいのこと\*-んでれるようにくされること\*-りすによって、のがわってしまったをします |
|  | 、やぐらとしてされるRemnantになりますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.05.04.レムナント伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **01**（水） | の(24、25、) |
|  | **イザ6章13節**　そこには、なおのがるが、それさえもきわれる。しかし、りされたテレビンやののように、それらのにりがる。このりこそ、なる。」 |
|  | Remnantはいときに、だれにうかがとてもです。そのとき、すべてのことがRemnantにえられて、にえられるからです。Remnantのとき、をえてもらえばよいのでしょうか。１つ、\*の\*です。では、のがのだとわれています。そして、どもがので、ものだとわれています。はののをします。２つ、ののタラントです。がえてくださったタラントをるためにすることがあります。をしながら、のみことばでえをつけます。のをいて、キリストでえをします。そして、つのりと、りにしましょう。すると、タラントをつけるようになって、と、でRemnantだけができるがてます。３つ、のをえるです。Remnantののにがえられれば、くことがこります。は、ヨケベデをしてイスラエルのをさせるをモーセにえられました。にモーセはエジプトのになりました。Remnantはがないようにえますが、そうではありません。、のにがえられているのかをにしてえてもらうをちましょう。\*-をしてわらないことをします\*-に、ゆずりけるとをしますが、みことばではがそのどもにえてくださったことをします。 |
|  | 、ののえをけるRemnantのになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.04.幼児幼稚働き人修練会1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **02**（木） | の |
|  | **マタ16章16節、使1章3節**　イエスはしみをけた、くのかなをもって、ごがきていることをたちにされた。にわたってらにれ、ののことをられた。(使1:3) |
|  | Remnantにもなのは、のであるをしくすることです。すると、やされるようになり、サミットをてるきがこります。Remnantは、ののとれ、がなのかをって、わいましょう。１つ、をるがあります。のをかるために\*つのりのをてみましょう。イスラエルのは、の、ヨベルのをりました。このは、をやしてかすでした。イエスも40、やしをされ、サミットとしててることをされました。Remnantはのがされるように\*つののためにりましょう。２つ、にはれがあります。のとき、のがっていたヨセフ、ダビデのようなRemnantをててのをえられました。こののれがけてれてたのです。３つ、はRemnantををするりのとしてててくださいます。どんなこともするのをくようにさせ、をするとしてくださいます。ののであるがRemnantにしくされるようにりましょう。\*つのり-、（のり）、をします。\*つの-の、りの、どもたちのをします。 |
|  | 、のであるをしくしてるRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.04.幼児幼稚働き人修練会2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **03**（金） | の |
|  | **使1章8節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。」 |
|  | はカナンにるイスラエルのにされたことがあります。エジプトしたときにかれたのみことばをにさせなさいとわれました。これは、のたちをしてRemnantにえられるべきです。このとき、Remnantがこります。Remnantは、のをどのようにすのでしょうか。１つ、すべての、、ので、がくださったのをつけましょう。そして、がくださったとしるべを、すべてのでつけましょう。これがをってつことです。２つ、や、のににすることがあります。ののことがこるようにりましょう。すると、ペテロがのなをてたように、なきがこり、きがてられます。３つ、にをってしましょう。アンティオキアは、のをてしました。になったとき、はアンティオキアにだけのをくださいました。そして、えられたペテロがからされるきがこりました。Remnantものがにえられるように、ってしてしましょう。 |
|  | 、のをすRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.04.幼児幼稚働き人修練会3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **04**（土） | すべてのはをつやぐら |
|  | **マタ5章13～16節**　あなたがたはのです。もしがをなくしたら、によってをつけるのでしょうか。もうのにもたず、にげてられ、にみつけられるだけです。(13) |
|  | Remnantは、にかでらかなをちましょう。そのにのみことばをしてをけましょう。には、えとをして、すべてをりにえましょう。には、みことばをしてやされるいをちましょう。このとき、つのことがします。１つ、がします。イエス・キリストはとしてられました。そのをじるとき、キリストがRemnantのにとしてまれ、Remnantはのどもになります。Remnantのにあるので、のはぶるぶるえます。２つ、がします。キリストがでされてののこととをされました。このをってるときに、にたされるきがこりました。これががRemnantにくださったです。３つ、アイデンティティがします。のがやぐらになる24のをきます。すると、ののをわう25のをくようになります。そして、やぐらをてるのしるべがてられます。はRemnantををつやぐらとしてばれました。このをわうりをと、にしましょう。 |
|  | 、、、のににするやぐらのえをわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.05.04.核心訓練 |